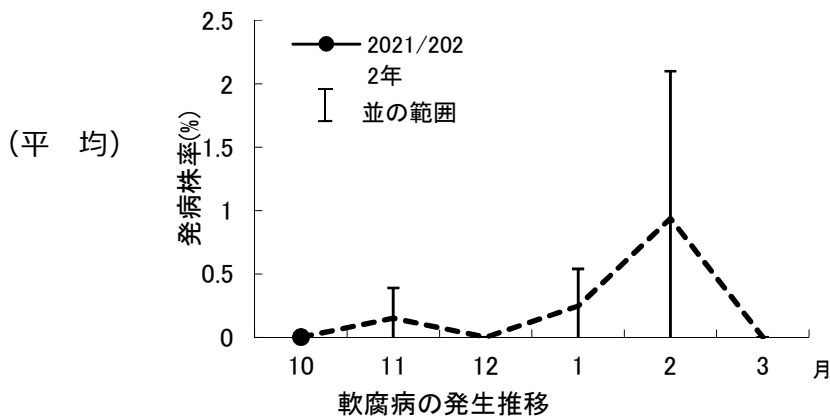
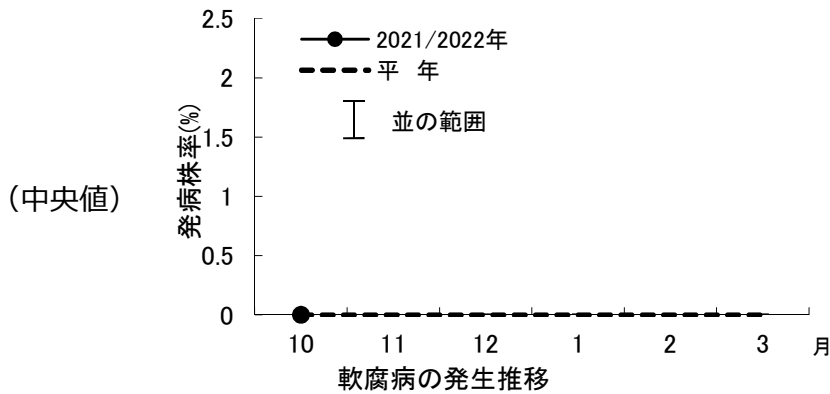


作物	レタス		地域	沖縄群島
病害虫名	① 軟腐病			
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並		
予報	10 月からの増減傾向	↗		
	11 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↗)		

調査結果



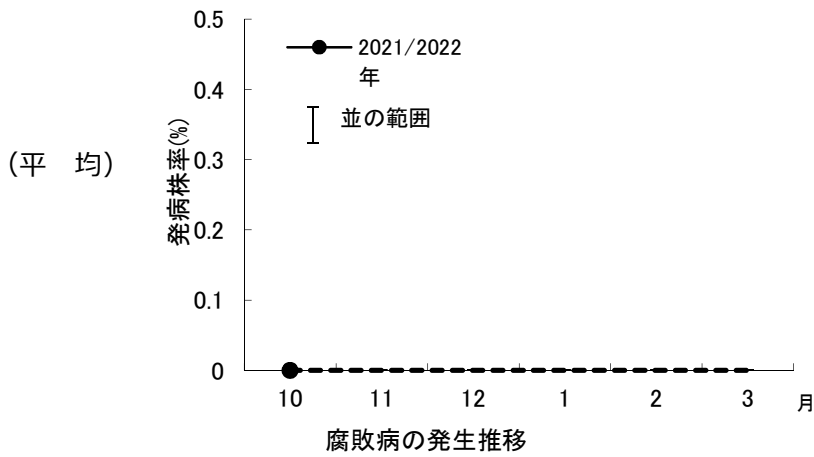
・発生ほ場率：0.0% (平年値：0.0%)

防除のポイント

- ・ほ場の排水を良くするとともに、密植栽培を避けて通風をよくする。
- ・菌の侵入源となる傷口の発生を助長するヨトウ類の幼虫やナメクジなどの駆除に努める
- ・薬剤散布は予防を主として、株元を中心に、丁寧に行う。
- ・発病株は放置せずに抜き取り、ほ場外に持ち出し処分する。
- ・本病が発生しやすい作物での輪作・連作は避ける。
- ・多発生したほ場は、休閑期に天地返しや土壌消毒を行う。

作物	レタス		地域	沖縄群島
病害虫名	腐敗病			
調査結果	10 月の発生量（平年比）	(発生なし)並		
予報	10 月からの増減傾向	→		
	11 月の発生量（平年比）	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)		


調査結果



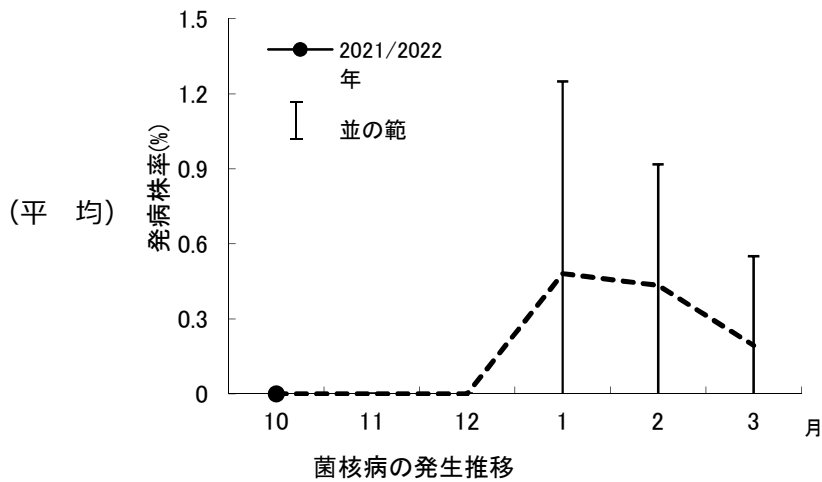
・発生ほ場率：0.0%（平年値：0.0%）

防除のポイント

- ・ほ場の排水を良くするとともに、密植栽培を避けて通風をよくする。
- ・発病株は放置せずに抜き取り、ほ場外に持ち出し処分する。
- ・本病が発生しやすい作物での輪作・連作は避ける。
- ・多発生したほ場は、休閑期に天地返しや土壌消毒を行う。

作物	レタス		地域	沖縄群島
病害虫名	菌核病			
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並		
予報	10 月からの増減傾向	→		
	11 月の発生量 (平年比)	並		
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)		


調査結果



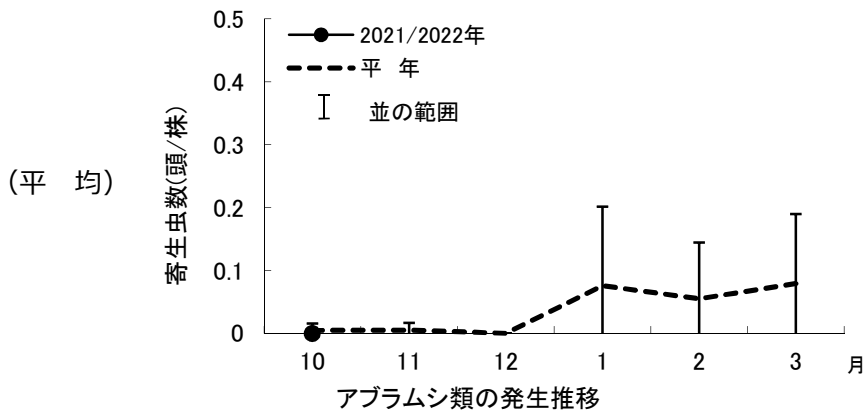
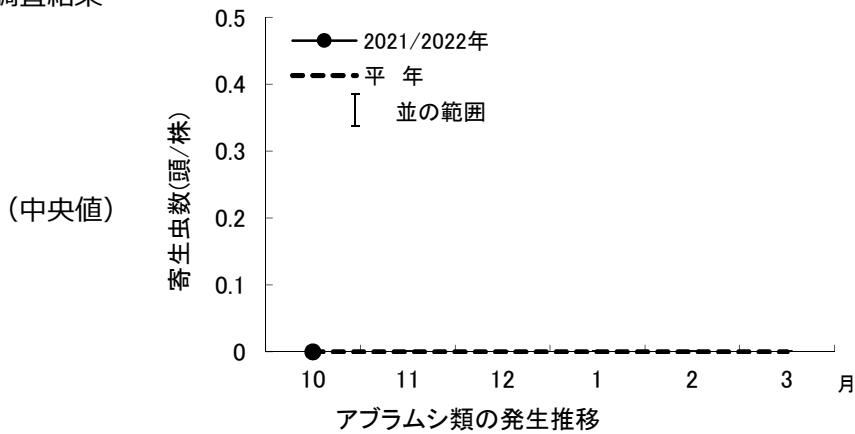
・発生ほ場率 : 0.0% (平年値 : 18.8%)

防除のポイント

- ・密植栽培を避けて、通風をよくする。
- ・被害株は菌核を形成しないうちに、早めに抜き取る。
- ・本病が発生しやすい作物での輪作・連作は避ける。
- ・多発生したほ場は、休閑期に天地返しや土壌消毒を行う。

作物	レタス	地域	沖縄群島
病害虫名	アブラムシ類		
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並	
予報	10 月からの増減傾向	→	
	11 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (→)	


調査結果



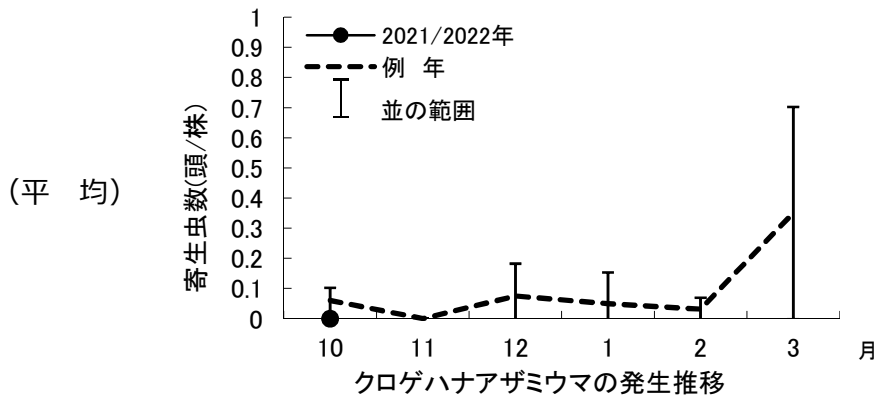
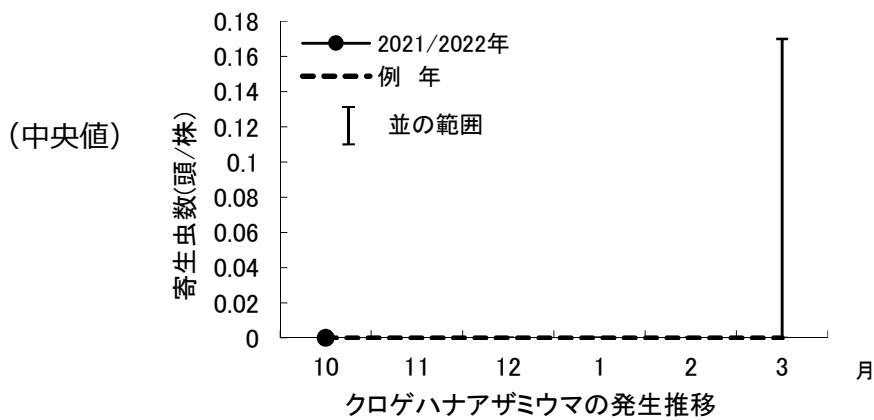
・発生ほ場率：0.0% (平年値：40.0%)

防除のポイント

- ・多発すると防除が困難になるので、葉裏を観察し、早期発見・早期防除に努める。
- ・天敵に影響の少ない、選択性殺虫剤を選定する。

作物	レタス	地域	沖縄群島
病害虫名	クロゲハナアザミウマ		
調査結果	10 月の発生量 (平年比)	(発生なし)並	
予報	10 月からの増減傾向	↘	
	11 月の発生量 (平年比)	並	
予報の根拠		平年の発生量の推移 (↘)	

調査結果



・発生ほ場率 : 0.0% (平年値 : 4.5%)

防除のポイント

- ・老齢幼虫になると薬剤の効果が低下するので、若齢期の防除が重要である。